

『ピエロ』

作 阿野 一人

登場人物

瑛太 29歳。新郎の大学時代の同級生。パーティの余興を頼まれている。寝取られ男
理子 29歳。新郎の大学時代の同級生。パーティの幹事。瑛太のことが好き。片思いヒロイン
昂輝 31歳。新郎の大学の先輩。パーティの司会を頼まれている。何も考えてない人
華 24歳。新婦の友人。瑛太の元・恋人。浮気して出ていった。余興を頼まれている。元カノ

ビルのエレベーターホール。レストランの入り口が見える。結婚式ウエルカムボード、長机、段ボールなどがおいてあり、ドレスアップした理子が受付の準備をしている。同じくドレスアップした昂輝が鬼気迫る様相でレストラン入り口から飛び出してくる。

昂輝 ハルカ！ どうして！ 俺と結婚するって言ってたじゃないか！

理子 ……違いますね。もっと淡々としてました。

昂輝 えー？

理子 なんか突然「新婦は私と付き合っていましたー！」って

昂輝 んー、(棒読みで)ご出席のみなさん、新婦、ハルカさんは私とも付き合っていましたー。新婦ハルカは二股をかけていましたー

理子 おー近いです近いです。で、LINEのスクショ配って。

昂輝 スクショ？ 印刷して？

理子 そう！ なんかラブラブのすごい生々しいやつ！

昂輝 えー！

理子 (ぶりっ子で)新しい下着かったんだけど、似合うかなあ？ みたいな。

ピエロの格好の瑛太がレストラン入り口に現れ、二人を見ている

昂輝 マジで！

理子 マジです。

昂輝 やば！ 見せてよそれ！

理子 もうないですよ

昂輝 なんで

理子 全部回収されましたから。式場の人がもう大慌てで。

昂輝 えー、だれか持っていないかな……

理子 確かに。一枚くらい隠しとくべきでしたね。

昂輝 でしょ？ こんな事件もうないよ？

理子　で、こう。ウエルカムボードに貼って、こう
昂輝　え、なにその発想！　こわ！
理子　世の中にはね、許してはならぬ／女がいるんですよ
瑛太　（我慢の限界で）いいから準備しろよ！　先輩も！
理子　わ！　なに？　怒鳴らないでよ……
瑛太　……ほんとき、時間ないんだから！
理子　てかき、この状況でほんとに二次会やんの？
瑛太　やるだろ。知らないけど。
理子　できんの？　披露宴で新婦の二股暴露だよ？
昂輝　うん。普通なら即・離婚だよ
瑛太　でも、二次会組は知らないんだから。
理子　そういう問題？　知らん顔してパーティやんの？
瑛太　そうなんじゃないの？
理子　はー、厚かましい。なんなのアイツ。
昂輝　ねー。最悪だなその男。
理子　え、そっち？
昂輝　え！　違うの？　普通しないでしょそんなこと！
理子　いやしないですけど。悪いのは新婦でしょ？
昂輝　それはそうだけど、披露宴でやる？
理子　二股女にふさわしい披露宴ですよ
昂輝　うわ辛辣
理子　よっぽど恨まれていたんですって
昂輝　でもだからってそこまで
瑛太　バラされて当然！
理子　……？
瑛太　二股でしょ？　最低じゃん。それだけのことしたんですよ。
昂輝　ま、そうだけど……ほら親とかもいるんだし
瑛太　関係ないです
昂輝　お祝いの場合だよ？
瑛太　お祝いされる資格なんてないですから！
昂輝　でもほら、せっかくみんなでハッピーな感じで
瑛太　浮気女に幸せになる権利はない！
理子　……
昂輝　……
瑛太　……ガムテなかったっけ
理子　え？　あ、あっちにあった

瑛太、レストランに入っていく

昂輝 めっちゃ怒ってるね……
理子 されてますからねー
昂輝 え？
理子 浮気。あれ、知らないですか？
昂輝 なになに？なにそれ！！
理子 結婚するって言ってた彼女、浮気して出てったらしいです
昂輝 えー！ 瑛太の？
理子 そう。
昂輝 マジか！ うわー
理子 されそうじゃないですか
昂輝 え？
理子 浮気。ああいう、スペック高め真面目くんは浮気されるんですよ。キープ要員。
昂輝 そうなの？
理子 そうですよー。計算高い女のカモだから
昂輝 わー
理子 絶対女見る目ないしね。ぶりっ子されたら守ってあげなきゃ、って思っちゃうタイプ。
昂輝 あー。だから理子ちゃん振られたんだ。
理子 はあああああ？ 振られてませんが！
昂輝 いやいやいや、みんな知ってるから
理子 なにそれ！ 完全にデマじゃん！！
昂輝 えー？ じゃあずっと片思い？
理子 (凶星で) だから！ 私は……

エレベーター到着音。華、エレベーターから出てくる

華 あ、こんにちはあの、二次会の……？
昂輝 あー！ そうです！ よろしく願います。
華 よろしく願います。華です
理子 はじめましてー。幹事の理子です。
華 理子さん、よろしく願います。
昂輝 昂輝です。MCやります。あともう一人ピエロが
華 ピエロ？
昂輝 余興やるヤツがあっちに
華 ああ
理子 えっと、華さんはなんのアレでしたっけ？
華 ムービーです。プロジェクターの確認したくて
理子 あ！ 念のため、先にどんなか見れます？

華 いいですよ。

華、カバンからPCを取り出し、映像を見せる

華 ベタに写真のスライドの感じで

昂輝 お、これ華さん？

華 そう！ ハルカと中高一緒なんです！ このへんからは大学かな……？

理子 止めて！

華 ？

理子 ちょっと戻して……あー、この人。

華 ？

理子 悪いんだけど、この人が写ってる写真、ぜんぶ消してくれる？

華 え、いまからですか？

昂輝 ああ、これがその問題の。

華 まあ、ハルカの元カレですけど……なんかあったんですか？

昂輝 披露宴に来たんだって

華 うそ！ 呼んだの？

理子 呼ばれてないのに来たの。で、なんかワタル……って新郎と、二股っぽい感じだったらしくて

華 ええ……？

昂輝 暴露したんだって。証拠のスクショまでとって

華 うそ……

昂輝 最悪だよー

理子 いや、だから悪いのは新婦の方ですから！ って、ごめんね、友達なのに。

華 いえ、それはさすがにハルカ悪いですから。えーけどそんなことあるんだ……

昂輝 ねー、信じられないよねー

華 こわいですね……

昂輝 華さんも気をつけるんだぞ！（左手の薬指を示す）

理子 （答めて）先輩！

華 （婚約指輪を見せながら）私はやましいことないんでー

昂輝 てか、指輪すごくね？ なにこれ。旦那なもの！？

華 医者ですけど、勤務医なんで（それほどでもない、というニュアンス）

理子 うわ……いいなあ……

瑛太、ガムテープを片手に戻ってくる。元・恋人の華に気づき、立ち止まる。
華も瑛太に気づく

華 ！？

昂輝 あー、瑛太瑛太、こちら華さん。ムービー作ってくれてて
瑛太 あ、えーと
理子 え、知り合い？
瑛太 いや（同時に）
華 はい（同時に）
理子 え？
瑛太 え？ あ、知り合い。前にちよっと、なんかで。ね。
華 そ、そうです。あ、じゃあ私これ直してきますね！
瑛太 え、不具合？ ですか？
理子 ムービーにあの男が映ってんのよ。ほんと最悪あの新婦
昂輝 理子ちゃん？（理子を諷めて）
華 いえ、理子さんの言う通り。ほんと最低です（瑛太を気にしながら）
昂輝 まあ、まあね。おかげで華さんの手間もね
理子 手間とかじゃないんですよ。人としてどうなのって。
昂輝 そう、人としてね。思慮がないというかね
理子 思慮とかじゃなくて。二股ですよ？ 人として終わってるでしょ。
華 終わってますよね……（だんだん落ち込んで）
理子 私が新郎だったら絶対許さない。こんなパーティなんてやってらんないでしょ。
華 あ、パーティ、どうするんですか？
理子 わかんないけど！ これだけ周りに迷惑かけてんのも自覚ないでしょあの女。
華 迷惑……（落ちこんで）
理子 ほんと腹立つ！ もう一回死んだ方が
瑛太 そこまでいうことないんじゃないかな（さえぎって）
理子 え？
瑛太 浮気したにしても、人格まで否定することはないでしょ。
理子 あんたさつきまで
瑛太 わかんないけど、悩んだ末のことかもしれないじゃん
理子 それで結論が二股って、その方がクズでしょ！
瑛太 クズとか言うなって！ 新郎の方にもなんかあったのかもしれないだし
華 ないよ、そんなの。ハルカが最低なだけだって。
瑛太 最低とかさ……
昂輝 急にどうした？
瑛太 なんですか？
昂輝 だってお前もさつきは最低だって
華 ！
瑛太 ……そんなこと言ってないです
昂輝 えー？ 言ってたでしょ！ 恨まれて当然だって。
瑛太 別に俺は恨んでないし！

昂輝 そりやお前は恨むことないだろうけど
瑛太 え？ あ、とにかく、もうやめましょ。
理子 なんなの？
瑛太 いや、だってほら、一応お祝いの席なんだし
昂輝 さつき「お祝いされる資格ない」って
瑛太 言ってみせんから！
昂輝 言ったよ！ 浮気女に幸せになる権利なんてない！ っ
瑛太 ……先輩が言ってたんじゃないですか！
昂輝 おれ！？
華 ……幸せになる権利、ないよね
瑛太 だから、そんなことないって！
華 あるよ
瑛太 ないから
華 自分の都合だけ考えて、楽なほうに流されてた女だよ？
瑛太 だから……流した奴も悪いし、繋ぎ留められなかった奴も
華 なにそれ！ じゃあ私の意志は？
理子 何の話？
瑛太 ……だからさ、事情があったのかもしれないじゃん
華 ないから！
瑛太 なんでそうやって
華 じゃああったらなんなの？ 許してくれるの？
瑛太 それは……
理子 え、そういうこと……？
華 ……ほら。だからいいじゃん最低女で。
瑛太 許す許さないの話じゃなくてさ！
華 じゃあなに！
瑛太 幸せになるのに資格とかないじゃん！
華 はあ？ 平気な顔して恋人を裏切ってたんだよ？ そんな女が幸せになっていいわけない
瑛太 でしょ。
瑛太 平気な顔なんてしてないじゃん！

(間)

理子 ……え、ホントにそういうこと？
昂輝 なにが？
理子 え、まじで！？ えー！！？
瑛太 ……
華 ……

理子 え、やば。えつとごめんなさい
華 ……
理子 えつとあの、私、別に華さんのことを、あの
華 あ、いえ。私はぜんぜん
理子 だから、えーと
昂輝 あー！ 計算高い女！？
理子 （乱暴にさえぎって）あーアレ！ アレやんなきゃ！ 音響チエック！
昂輝 え、偶然？ 二人ってその
理子 音響チエックしなきゃ！ ね！
昂輝 待って待って
理子 いいから音響！

理子、昂輝を連行してレストランに入っていく。

（間）

華 ……写真、消さなきゃ
瑛太 あのさ、俺はもうほんとになにも
華 わかったよ。ありがとう。でも無理しないで
瑛太 無理なんて
華 してるじゃん。
瑛太 ……
華 本音で許せないなら、一面と向かって言われた方がよっぽど楽だよ？
瑛太 ……だからあれは
華 ごめんね？
瑛太 ……
華 瑛太が正しいよ。
瑛太 ……
華 理子さんも言ってたじゃん。私は最低なんだって。
瑛太 だからそんなこと……
華 私は、幸せになれなくても仕方ない。それだけのことをしちゃったから。
瑛太 ……
華 ……ぶち壊しに来てもいいんだよ
瑛太 行かないよ
華 だよね。優しいもんね
瑛太 ……
華 瑛太は優しいから、私が困ることは絶対しないもんね。どんなに私が悪くても。
瑛太 ……

華 もしバチが当たって、失敗したら、笑ってね

瑛太 笑えないよ

華 なんて

瑛太 ……幸せになって欲しいからだよ

華 だから、そういうのもういいから。嘘つかないで

瑛太 ……嘘じゃないよ

華 嘘だよ。まだ怒ってるじゃん。

瑛太 嘘じゃないって

華 じゃあその顔なに？ あてつけ？

理子がレストラン入り口からこっそり様子をうかがっている

瑛太 あてつけなんかじゃ

華 余計つらいつて言ってるじゃん！ なんで嘘つくの！？

瑛太 嘘じゃないよ！！

華 じゃあ何！？

瑛太 全部本音だよ！

華 ……

瑛太 許せないっていうか、まだ許せてないのかもしれないけど！ 許せてないのもホントだけど！ けど、華のつらそうな顔なんて見たくないし、幸せになって欲しいのも本音だよ！

華 意味わかんない！

瑛太 自分でも意味わかんないと思うよ！ 意味わかんないよ！ 顔も見たくないって思ってたけど、顔見たら……大嫌いだけど、すげー嫌いになったけど、でもたぶん好きなんだよ！ 幸せでいてほしいんだよ！

(間)

華 ……そっか

(間)

華 ……ありがとう

瑛太 ……

華 ……なんで引き留めてくれなかったの？

瑛太 え……？

華 私、本当は

ハウリング音でさえぎられる。ノイズ交じりでマイクテストの音が聞こえてくる

昂輝（声） あーあー、（ノイズ）、それでは、世界一幸せな二人を拍手でお迎えくだ（ノイズ）

音量調節でぐにやぐにやの結婚式BGMが流れる。

華、瑛太のそばにいく。見つめあう2人。その様子を見ている理子。
BGM止まる。

華 なんでもない

瑛太 ……

華 結婚式、呼ぶね？

瑛太 え

華 ……嘘だよ！ 写真、消してくるね！

華、レストラン入り口に向かう。

立ち聞きしていたのを誤魔化す理子に、「大丈夫」的な視線・ジェスチャーを示し、はける。
理子に気づかず、物思いにふける瑛太。

瑛太 ……

何かがふっきれ、晴れやかな表情に変わる瑛太。

理子が近づいてくる。

手近な段ボールの空箱を朗らかな余韻に浸る瑛太に投げつける

瑛太 なんて！？

おわり